

春のハイキングへ参加して

桑名旧東海道沿いの史跡巡り 6.0km

2025 年 5 月 10 日(土)

1. ルート 近鉄「益生駅」→ 旧東海道 → 春日神社 → 九華公園(昼食) → 七里の渡し → 六華苑・諸戸庭園 → 海蔵寺(薩摩藩ゆかり) → 桑名駅 5.5km 13,000 歩
2. 参加者 市川、伊藤、喜吉、高木、伝田、中村(軍)、中村(衛)、浜田、溝川 (敬称略) 9 名
3. 参加報告

前日午後からの雨が当日早朝まで残るような天気予報が出ている中、中止の場合は前日 17:00 までに参加者へ連絡することになっており、その判断が悩ましい状況でした。関係者と相談し、その判断を当日 8:00 まで先延ばしました。当日の朝も霧雨状態でしたが、お天気は回復に向かうとの予報であり、実施することとなりました。結果的には、ずっと曇り空でしたが、最後まで雨具を使うことなく歩くことができました。



また比較的短距離の行程だったので、それほど汗をかくこともなく、ゆったりとしたハイキングを楽しむことができました。

ハイキング会一行は、まず近鉄「益生駅」出口で集合写真をパチリ、総勢 9 名で出発しました。益生駅を東へ歩き始めたところに、今はあまり見ることもなくなった昔の「火の見やぐら」があり、そのたたずまいに往時が偲ばれます。



少し歩いたその先に西矢田町祭車蔵の入口扉が少し開いていたので、一枚写真を撮らせてもらいました。「日本一やかましい祭り」と言われる桑名の春日神社の石取祭で曳かれる祭車の保管蔵のようでした。間口は一間くらいでした。

少し歩いたその先に西矢田町祭車蔵の入口扉が少し開いていたので、一枚写真を撮らせてもらいました。「日本一やかましい祭り」と言われる桑名の春日神社の石取祭で曳かれる祭車の保管蔵のようでした。間口は一間くらいでした。

過去のハイキングコースの中に久居五万石の城下町散策がありましたが、この時もハイキングの道筋には、行く先々にお寺や神社が沢山ありました。今回の道筋にもまた多くの神社お寺がありました。往時には桑名城下の宿場町として、また、海上交通の拠点として栄えたところから、人の多く集まるところに、またお寺なども多く集まっていると思われます。

少し写真で紹介します。



走井山 善西寺



天武天皇社



十念寺

【十念寺】

浄土宗。古くは朝明郡切畑(現三重郡菰野町)にあったが、室町時代に桑名へ移り、慶長町割の際に現在地に移る。県指定文化財として祭礼図屏風・当麻曼荼羅図、市指定文化財として森陳明之墓がある。森陳明(1826～69)は明治維新の際に、桑名藩が敗北した責任を取り、藩を代表して切腹した。



泡洲崎八幡社



教宗寺



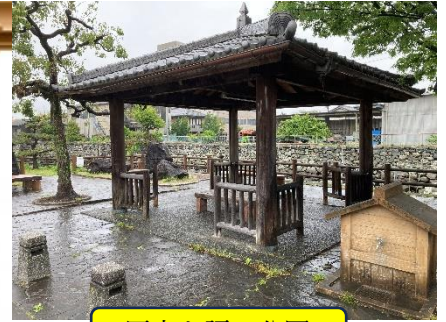
連子格子の家

写真のように多くの神社、お寺がありましたが、その他にも立ち寄ることができなかったところも沢山ありました。また、道筋には連子格子の家もあり、昔と今が混在している町並みを楽しみました。その後、昼食予定場所の九華公園を目指して歩みを進めました。

途中に桑名城のお堀に沿って「歴史を語る公園」が続いており、案内看板には次のようがありました。

歴史を語る公園

桑名は、東海道四十二番目の宿駅であり、桑名藩の城下町であり、また、木曾三川の河川交通、伊勢湾の海上交通を担う港町でもあった。その上、桑名は、熱田宮宿に次いで、東海道中第二位の宿数を誇り、一の鳥居を擁する伊勢路の玄関口として、賑わいをみせていた。このような史実に着目し、江戸の日本橋から京都の三条大橋に至る東海道五十三次をモチーフにして造られたのがこの公園である。



歴史を語る公園



春日神社銅鳥居



しるべいし

【桑名石取祭】

桑名の春日神社の石取祭は、江戸時代初期に始まったものといわれ、桑名城下の町人や藩士が楽しみにしていた初夏の祭りです。祭車総数 43 台、全国的に見ても単一の神社、一神事でこれほどの山車が一堂に会する祭りは非常に珍しく鉦や太鼓を打ち鳴らし、「日本一やかましい祭り」といわれ、平成 19 年 3 月には「桑名石取祭の祭車行事」の名称で、「国指定重要無形民俗文化財」に指定されました。

続いて訪れたのは、桑名の春日神社でした。石取祭りで有名です。町屋川から採取した石を氏神様に奉納する行事が祭礼化したもので、日本一やかましい祭りと言われる「桑名石取祭の祭車行事」として、重要無形民俗文化財にも指定されています。1 ページの写真のような祭車(山車)が 43 台も一堂に会する祭りは珍しいとのこと。また、参道入口の鳥居は銅製で緑錆により、濃い緑色でした。また、鳥居の柱の根元には、迷い児石といわれる「しるべいし」がありました。あまり目にすることがないので、このようなところにも歴史を感じることができました。春日神社を後に九華公園の東屋で昼食をとりました。美味しい飲み物やつまみを堪能した昼食でした。その様子に誘われてハトもご相伴にあずかりにきました。



九華公園昼食



人慣れしたハト

九華公園での昼食の後、七里の渡し跡を訪れ、観光に来ていた若い(?)三人組の女の人にお
願いし、みんなで記念写真を撮りました。その後、六華苑の横を通り、諸戸庭園も屋敷の外観
を眺めながら歩をすすめました。しばらく歩くと
三崎見附跡という運河の末端のようなところがあり、めずらしい景色なのでパチリと一枚。



その後、海蔵寺を訪れました。木曾三川の宝暦の治水工事に殉職した薩摩義士 23 名
のお墓がありました。ここにも遙か昔の歴史が静かに息づいているように感じました。今回
のハイキングは、距離はそれほどでもなかったのですが、見どころの多いコースとなりました。
ご参加の皆様には、大変お疲れさまでした。



2025/5/10 春のハイキングコース

2025.5.17

社友会幹事 市川義行